

# 「パウロの最後の言葉」

テモテへの手紙第二 4章 6～8節

2022.4.24

パウロの今、過去、未来を通して、私たちの信仰の歩みを吟味しましょう。

## 1. パウロ —今の自分— (6節)

### ① 私は今や注ぎの供え物となります。

旧約では、いけにえを捧げる時、聖別のしるしとして祭壇に注いだぶどう酒等を指す(民15:10)

パウロの殉教を指しており、その時が今まさに来ました。

ピリピ1:20~21「それは、私がどういふばあいにも恥じることなく、いつものように今も大胆に語って、生きるにしても、死ぬにしても、私の身によって、キリストのすばらしさが現わされることを求める私の切なる願いと望みにかなっているのです。私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。」

### ② 私が世を去る時はすでに来ました。

「出立」キ アナリュシス

船が航海のために岸壁から離れていく時  
兵士が前進するためにテントを引き払う時 } に使われた。

パウロにとって、この出立の時は、栄光にあふれた新しい時への出発の時であった。

ピリピ3:20「私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」

ヘブル11:16a「しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。」

## 2. パウロ —過去の自分— (7節)

この7節で、完了形(過去のある時に起こったことが継続して今も続けている)の動詞を3つ使っている。

### ① 勇敢に戦った。

パウロは、戦場の兵士が勇敢に戦う者である様に自分も勇敢に戦ったという。パウロの戦いは、信仰の戦いでした。

Iテモテ6:12「信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。」この戦いの最大の敵は、サタンでした。

エペソ6:12「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」

#### a. サタン

Iペテロ5:8「あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを探し求めながら、歩き回っています。」私たちが人間の罪の始まり(創3章)

蛇が、アダムとエバを誘惑し、神に従わない思いを起こさせた。

#### b. パウロは、いつも自分に力を与えてくれる方を知っていた。

ヨシュア1:9「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主があなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

ピリピ4:13「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」

パウロは、神の武具を身に付けて、勇敢に戦いました。

## ② 走るべき道のりを走り終えた

a. パウロは主によって備えられた自分の道を終わりまで走りぬいたという。

主の備えられた道

使9：15～16

パウロは使徒として主から遣わされた。

「使徒」キ アポストロス

使者、大使、また特別な使命を帯て派遣された者

I コリント15：9～10「私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

### ☆ ジョームズ・M・ストーカー（新版パウロ伝より）

キリストの初めからの使徒のうちには、(中略)異邦人世界を大規模に回心させてゆくに必要な数々の賜物をあわせ持っている者がいなかったのである。彼らは、ガリラヤの漁師であり、自分の故国パレスチナで教え、伝道するのが精一杯であった。しかし、パレスチナの外には、ギリシャ・ローマの広大な世界が広がっていた。(中略) そのような所へ、福音のメッセージを持って出かけて行くには無限の融通性、教養、深い人間的共感力、また包容力を備えた人物を必要とした。(中略) これほどの人は、キリストの一番弟子たちの中にはいなかった。しかし、キリスト教はそのような人を必要としていた。そして、その人はパウロにおいて見い出されたのである。

b. パウロの信仰の人生は苦難や困難の連続であったが（II コリント11：23～27）しかし、パウロの心はいつもイエス・キリストによって満たされていた。（ピリピ4：11～13）

## ③ 信仰を守り通した

「守る」キ テーレオー 見張る の意

信仰とは、罪を悔い改め、イエス・キリストを救い主として、自分の主として受け入れ、その方に従うことです。

救われた後、何もせずに信仰を守り通すことは不可能です。

主の助けによって、神の救いの目的にしたがって歩むことが大切です。

ヤコブ1：22「みことばを實行する人になりなさい。自分を欺いてただ聞くだけの者であってはけません。」

エペソ2：10「私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。」

## 3. パウロ —未来の自分—（8節）

### ① 義の栄冠が私のために用意されている。

「義の栄冠」— 救われて、主の命令に従って地上での人生を歩んだ者に与えられる栄冠(報い)

〈ウイリアム・バークレー〉

ギリシャの競技では、最高賞は月桂樹の冠であった。勝利者は、その冠を戴いた。この冠を頭にのせてもらうのが、参加選手の最大の榮譽であった。パウロは、この義の栄冠を目指して走った。

### ② 義の栄冠を正しい審判者が与えて下さる

a. 正義をもって裁かれる方

b. 各々に報いを与えて下さる方

マタイ5：12a「喜びなさい。喜びおどりなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのだから」

黙22：12「見よ。わたしはすぐに来る。わたしはそれぞれのしわざに応じて報いるために、わたしの報いを携えて来る。」

パウロの今、過去、未来はあなたに何を教えてくださいませんか？